

平成27年度日本保険学会大会

シンポジウム「グローバル化と保険業」

報告③

保険業のドメスティック性とグローバル性

岡田 太志

関西学院大学商学部

構成

I. ドメスティック性とグローバル性

1. ドメスティック性とは何か
2. グローバル性とは何か
3. リスクの経済的意味

II. 金融三分野の市場特性と規制

III. グローバルな類似性とローカルな多様性

IV. 海外事業展開

V. ガバナンスの問題

VI. おわりに

I. ドメスティック性とグローバル性

1. ドメスティック性とは何か

打合会で、保険業はグローバル化とどこまで親和性をもつのか、という問題意識が提示された。

それは、国家や地域、文化、保険の分野や種目、保険技術、他によるものなのか。
人口動態 経済の発展段階・成長率

保険の歴史を紐解くと、始まりはドメスティック
保険は文化を映す鏡、リトマス試験紙(田村祐一郎先生)

保険引受業務 ドメスティック性

資産運用業務 グローバル性

資産運用の高度化

保険会社の資産・負債の経済価値ベースによる評価

国際的基準 ソルベンシー規制

IT革命:ITの進展 FinTech(金融・IT融合) 人工知能(AI)

ドメスティック性も急速に変容する

2. グローバル性とは何か

グローバリゼーションとは、世界規模の社会的な相互依存と交換とを創出、増大、拡大、強化すると同時に、ローカルと遠隔地の関係が深まっているという人々の認識の高まりを促進する、そうした一連の多次元的な社会的過程である。

(Steger 2004,2013)

1 経済的次元

貿易と金融の国際化 IMF World Bank WTOといった国際機関の役割の拡大

2 政治的次元

グローバルガバナンスは？

3 文化的次元

4 エコロジー的次元

文化的・社会的・経済的な思想や活動の一部または全部

複眼的思考

- 国際保険監督規制の枠組みの変容
- グローバルガバナンスの進化？

金融機関の活動や取引のグローバル化に対応し、監督当局間の国際協調・連携の更なる推進が必要

金融機関のグローバル展開が進む中、監督協力ネットワークを強化

クロスボーダーの相互進出支援

市場の公正性・透明性の確保

市場の失敗 政府の失敗(規制の失敗)

契約者保護(利用者保護)

3. リスクの経済的意味

経済主体が抱えるリスクの経済的意味は、その経済主体が依って立つ社会経済システムとの関係において規定される。

公的保障 私的保障 自己責任 社会責任

資本主義 vs 資本主義(アルベール・ミシェル)

文明の衝突(サミュエル・P・ハンチントン)

日本型資本主義と市場主義の衝突(ロナルド・ドーア)

Ⅱ. 金融三分野の市場特性と規制

経済的規制: 健全性規制、市場行動規制、競争規制

- **保険** 保険契約者の劣位を補完
 - 健全性規制
 - ソルベンシー規制、支払保証基金制度、保険料率規制
 - 市場行動規制
 - 保険料率規制、商品規制、販売規制

- **銀行** システミックリスク顕在化の回避
 - 健全性規制
 - 自己資本比率規制、バランスシート規制、大口融資規制、預金保険制度

- **証券**
 - 市場行動規制
 - 情報劣位にある投資家への情報開示(投資商品の安全性、収益性、流動性)

- ・保険事業規制と市場規律の限界
長期性 スポット性 判例研究

「金融システムの安定」、「利用者の保護」、「公正・透明な市場の確立と維持」

金融三分野は、市場特性も、監督規制の目的と形態も異なっている。

⇒金融融合 金融コングロマリット
商品、供給、アドバイザー機能の各面での融合

国際金融・保険グループに対する規制・監督体制を整備する必要性

ベターレギュレーション

より良い規制環境を実現するための金融規制の質的な向上

ルール・ベースの監督、プリンシプル・ベースの監督の最適な組合せ

優先課題への効果的対応、金融機関の自助努力尊重と金融機関へのインセンティブの重視、
行政対応の透明性・予測可能性の向上、が4つの柱

Ⅲ. グローバルな類似性とローカルな多様性

Cummins and Venard(2007)

16の国と地域

米国、日本、英国、フランス、ドイツ、イタリア、カナダ、オランダ、スペイン、アイルランド、中国、インド、南アフリカ、ブラジル、EU、東南アジア

1. グローバルな類似性

- (1)規制緩和の潮流
- (2)国際機関(ex. WTO)の国際ビジネスへの関与
- (3)民営化
- (4)保険技術、保険商品の洗練化
- (5)保険市場の国際化とリスク分散
- (6)再保険
- (7)年金・医療保険改革の必要性
- (8)保険販売システムの進展

2. ローカルな多様性

- (1) 保険専門用語の意味
- (2) 保険事業規制
- (3) e-commerceの役割
- (4) 保険の販売チャネル
- (5) 政治制度
- (6) 人口動態、高齢化
- (7) 保険商品の構成、税制
- (8) 金融危機への対応メカニズム

3. グローバル化、ボーダレス化、フラット化

完全なフラット化はなく、
セミ・グローバリゼーションの状況は続くのでないか。

4. 保険業のビジネスモデル

ビジネスモデルの多様化が暫くはさらに進むのではないか

IV. 海外事業展開

- 少子化高齢化による国内市場の縮小
- 経済成長が著しい諸国では、人口増加が予想され、所得の増加による中間層の拡大が保険需要の高まりに繋がることが期待される。

保険企業も、もはや自国のみにとられる時代ではない。

国内損保、国内生保、国際事業

グローバル化は目的ではなく手段

どのような形での海外展開

経営の4資源 人的資源が要

1. トランスナショナルアプローチ

外国事業の位置づけ、子会社コントロール、責任・権限の委譲
マルチナショナル、インターナショナル、グローバル、トランスナショナル

2. I-Rフレームワーク

グローバル統合
ローカル適応

V.ガバナンスの問題

ガバナンスはマネジメントの上位概念

良い経営とは何か？ いかにして良い経営を実現するか？

運営トップへのチェック(規律づけと任免を含む)としてのガバナンスの議論なくしては、議論は完結しない。

グローバルガバナンスがグローバルリゼーションを下支え

グローバルな水準での社会的責任

国際機関

グローバルガバナンス(に限界？)

各国間で最低限の共通基準を策定するというレベル以上に進むか
権限の委譲、ネットワーク、基準をつくる権力と正統性？

説明責任の関係が欠けないか？

(誰に対しての説明責任、どこからの付託)

(金融庁 金融行政方針)

海外当局等との連携を一層強化

グローバル・ベースでの市場監視機能を強化

国際的な情報交換の枠組み等を積極的に活用

海外当局への調査依頼等による実態の解明

グローバルな連携や枠組みの下で、自国の制度や慣行は残されていく。

グローバル化により、ガバナンスが変化していると考えがちであるが、責任を取っている主体は？

VI. おわりに

保険業におけるドメスティック性は、一般物財産業のみならず金融他業との比較においても、おそらくより強く残っていく。

保険業内にあっては、その分野や種目により、グローバル性やドメスティック性の程度に差異が認められる。

市場規律に依拠することに限界は認められながらも、それを追求する方向での検討や改革はグローバルにもローカルにも続けられていくであろう。グローバル化、ボーダレス化、フラット化については、完全なフラット化はなく、グローバル化が一進一退をくりかえしながら進むセミ・グローバル化の状況が続いていくのでないか。

IT・人工知能の進展は、保険システムを転換させる可能性を秘めている？

保険業は、その一義的機能から社会的には補助的商業である。そのため、保険業は、各国各地域において、社会を主導する地位を与えられたことはほとんどなく、特に変革期においては、先行するとされる他業からの影響を強く受けてきた。

グローバル化の時代に、各保険経営ならびに各国規制当局にあつては、グローバル化とそれへの対応を追求し続けると同時に、社会的に看過されがちな保険の特殊性、ドメスティック性を絶えず検証し、社会に対してもそれを積極的に主張し理解をもとめていく姿勢が重要となっている。

主要参考文献

- 伊丹敬之・加護野忠男『ゼミナール経営学入門〔第3版〕』日本経済新聞社(2003)
- 金田幸二「金融危機と金融・保険グループ規制の動向」『損保総研レポート』第87号(2009・3)
- 「金融・保険グループ規制の動向－EUおよび米国の動向を中心として－」『損保総研レポート』第91号(2010・3)
- 「金融・保険グループ規制の動向－EUの金融コングロマリット指令および米国の保険グループ規制等を中心にして－」『損保総研レポート』第95号(2011・4)
- 「国際保険資本規制の動向－銀行のバーゼルⅢとの比較を踏まえて－」『損保総研レポート』第110号(2015・1)
- 金融庁『平成27事務年度金融行政方針』(2015)
- 五味正夫「保険事業のグローバル化と規制・監督の国際標準化」堀田一吉/岡村国和/石田成則(編著)『保険進化と保険事業』慶應義塾大学出版会(2006)
- 桜井公人/桜井純理/高嶋正晴(訳)『新版 グローバリゼーション』岩波書店(2010)(Steger,Manfred B. , *Very Short Introductions: Globalization*, Oxford University Press .,2008.)
- 柴山桂太/大川良文(訳)『グローナリゼーション・パラドックス』白水社(2014)(Dani Rodrik, *The Globalization Paradox: Why Global Markets, States, and Democracy Can't Coexist*, Oxford University Press.,2012.)
- 生命保険文化センター『国際的保険グループの監督規制』(2013)
- 『生活保障システムのパラダイムシフトと生命保険産業』(2015)
- 損害保険事業総合研究所『欧米主要国における保険募集・保険金支払に係る規制と実態』(2012・9)
- 『アジア諸国における損害保険市場・諸制度の概要について(その2)』(2015・3)

- 堀田一吉「人口減少時代の到来と保険業への影響」田畑康人/岡村国和(編著)『人口減少時代の保険業』慶應義塾大学出版会(2011)
- 吉原英樹(監訳)『地球市場時代の企業戦略』日本経済新聞社(1990)(Barlett, C. A. and S. Ghoshal, *Managing across Borders*, Harvard Business School Press,1989.)
- Cummins, J. David and Bertrand Venard , *Handbook of International Insurance Between Global Dynamics and Local Contingencies*, New York: Springer, 2007.
- Steger, Manfred B. , *Rethinking Globalism*, Rowman & Littlefield,2003.